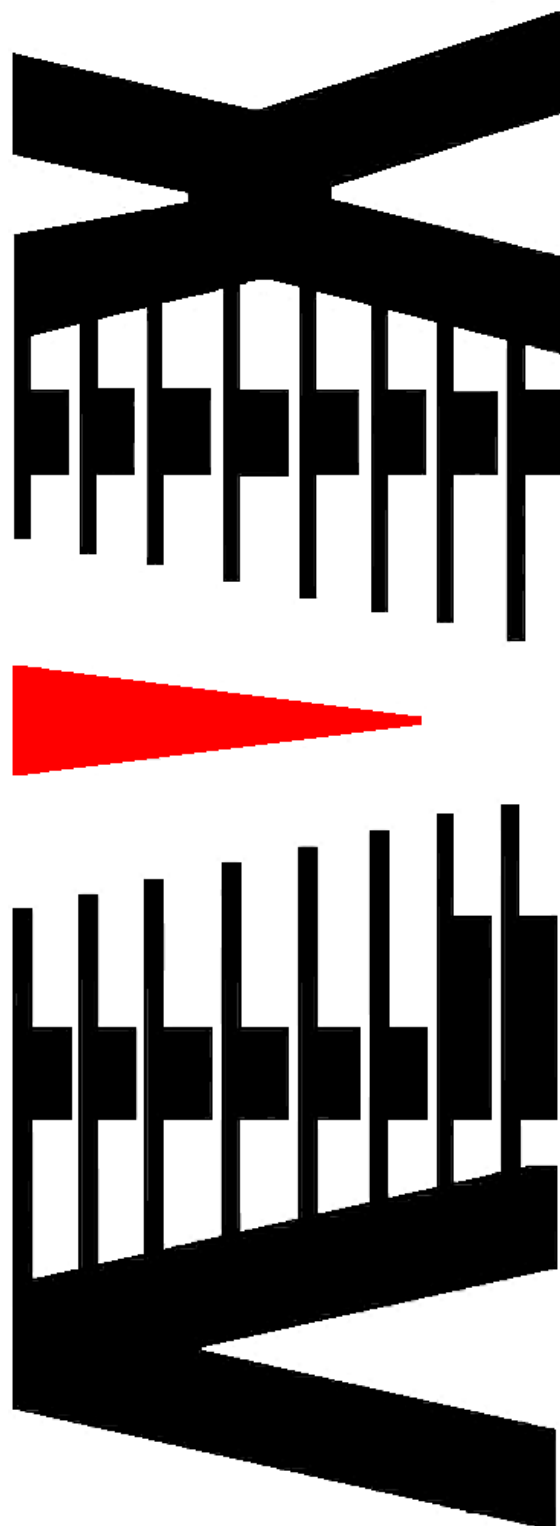


音声エラー検出装置・『音声』チェッカー
AED-800
V/A ERROR DETECTION UNIT

コントロールソフトウェア取扱説明書

Rev. 1. 00



目 次

	ページ
1. 概要	1
2. 画面説明	2
2. 1 メイン画面	2
2. 2 設定値の選択	4
2. 3 設定値の設定・変更	5
2. 3. 1 しきい値設定	7
2. 3. 2 マスク値設定	11
2. 4 台数設定	14
2. 5 IP アドレス設定	15
2. 6 ログ保存設定	16
2. 7 ログ表示設定	17
2. 8 追加機能	18
2. 9 ログ検索	20
2. 10 ログ削除	22
2. 11 測定レベル参照	23
2. 12 アラーム状態参照	24
2. 13 しきい値参照	25
2. 14 マスク値表示	26
2. 15 システムログ参照	27
2. 16 AEDバージョン参照	28
2. 17 バージョン情報	29
3. 特記事項	30
3. 1 インストールフォルダにあるファイルについて	30

1. 概要

本書はAED-800に添付されるソフトウェア（以下、管理ソフト）の取り扱いについて説明するものです。

管理ソフトは、AED-800より通知される各種エラー情報のロギング、及び、AED-800に対する調整・設定を行う機能を持っています。

管理ソフトで最大10台のAED-800を管理する事が可能です。

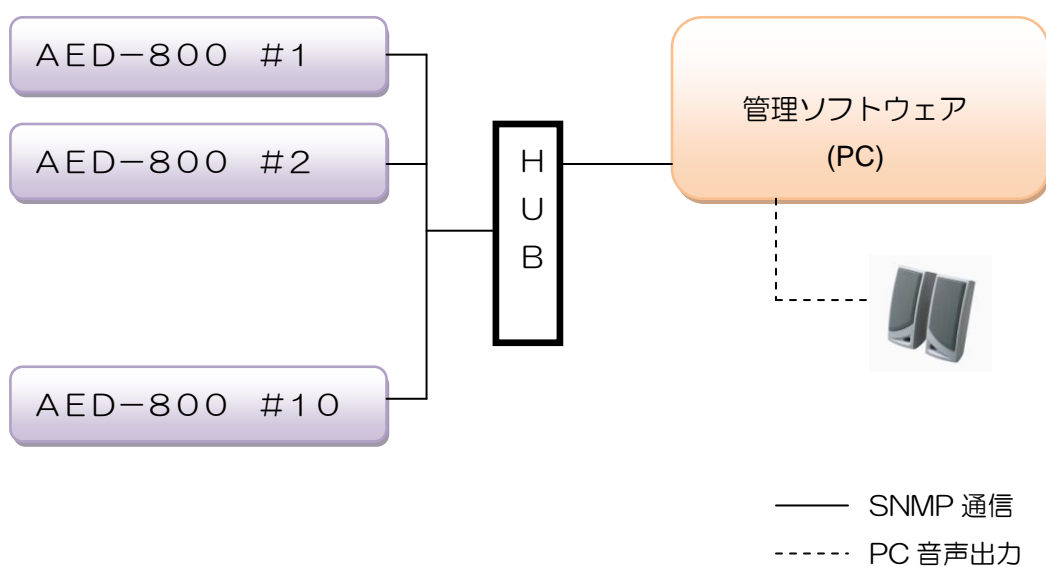


図1-1 システム構成図

2. 画面説明

2. 1 メイン画面

ソフトウェアを起動した際に表示される画面です。

この画面ではエラー状況ログが表示されます。

左部のボタンから各種設定・調整メニューを選択できます。

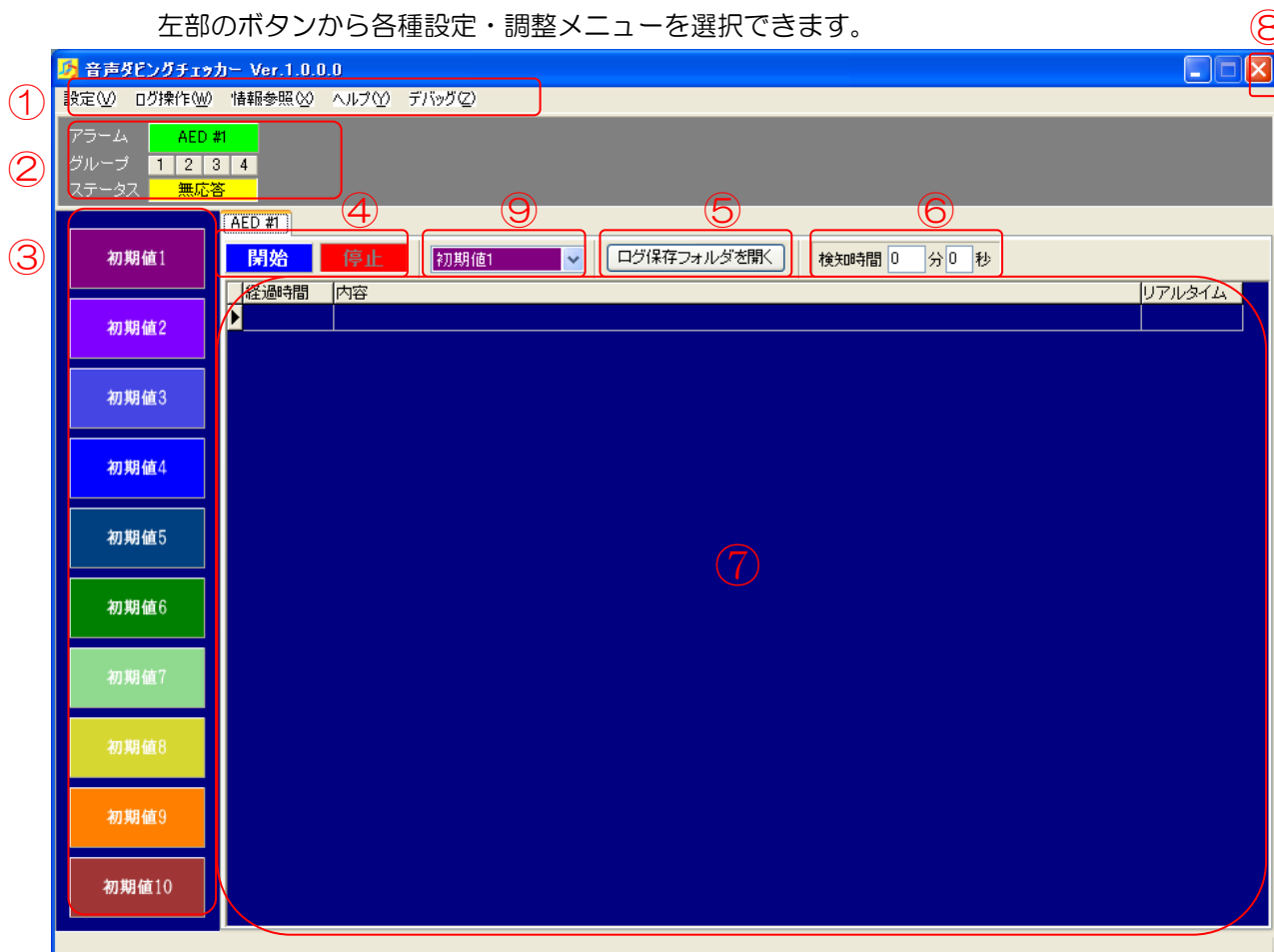


図2. 1-1 メイン画面

- ① メニューバーより処理を選択します。
- ② ステータスバーに、AED-800との通信状況、管理ソフトの操作状況、音声グループ毎のアラーム状況を表示します。

アラーム	AED #1
グループ	1 2 3 4
ステータス	無応答

該当 AED-800 のトータルアラーム表示を行います
2Ch セットでグループ化し、アラーム表示します
AED-800 との通信状態または実装 Ch 数を表示します

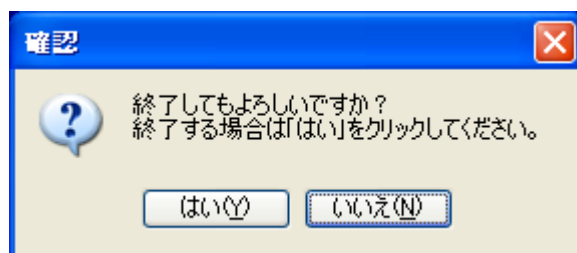
表示例

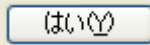
アラーム	AED #1
グループ	1 2 3 4
ステータス	無応答

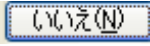
「アラーム」ボタンをクリックする事で音声の停止、グループのアラーム表示消去(通常表示)が行われます。
「アラーム」の色については発生回復に連動し、自動的に更新されます。

- ③ 設定値の設定および変更を行います。
 (詳細は「2. 2 設定値の選択」参照)
- ④ 選択しているAED-800のエラー検出「開始」「停止」を行います。
- ⑤ エラーログの保存先フォルダを表示します。
※エラー検出中は操作できません。
- ⑥ 検知開始から終了までの時間を設定し、自動終了させることができます。
 0分0秒のときは、自動終了機能OFFです。
- ⑦ エラー発生状況を逐次ログに蓄積します。
 ログ表示に使用する文言は一部「ログ表示設定」にて設定することができます。
 (詳細は「2. 6 ログ表示設定」参照)
 また、映像比較エラーのログをダブルクリックすると、エラー画像の再生を行います。
 (詳細は「2. 4 キャプチャ関連画面」参照)

- ⑧  をクリックすると以下の確認メッセージが表示されます。



 をクリックすると管理ソフトを終了します。

 をクリックすると終了処理を中止し、本画面に戻ります。

- ⑨ 設定値の選択を行います。
 (詳細は「2. 2 設定値の選択」参照)

2. 2 設定値の選択

本画面では、AED-800へ設定するしきい値とエラー検出時のマスク値を選択します。
選択時にしきい値をAED-800に設定します。

また、設定値を他のボタンにコピーすることができます。

① 設定値の選択

AED-800へ設定したい、しきい値、マスク値が登録されているボタンをリストから
選択します。

- 1) AED-800にしきい値を設定します。この時、「ステータスバー」に設定の成否が
表示されます。
- 2) エラー検出時のマスク値を更新します。
- 3) 選択した設定値が表示されます。

② 設定値の設定及び、変更

設定値を設定・変更したいボタン上でマウスをダブルクリックします。

「2. 3 設定値の設定・変更」画面が開きます。

③ 設定値のコピー

設定値をコピーしたいボタン上でマウスを右クリックします。

ポップアップメニューが表示されますので「コピー」→「コピー先のボタン名」を
クリックします。

設定値と「設定名称」がそのままコピーされます。

「2. 3 設定値の設定・変更」画面を開いて「設定名称」を変更してください。

2. 3 設定値の設定・変更

本画面では、AED-800に設定するしきい値とエラー検出時のマスク値を編集・設定します。

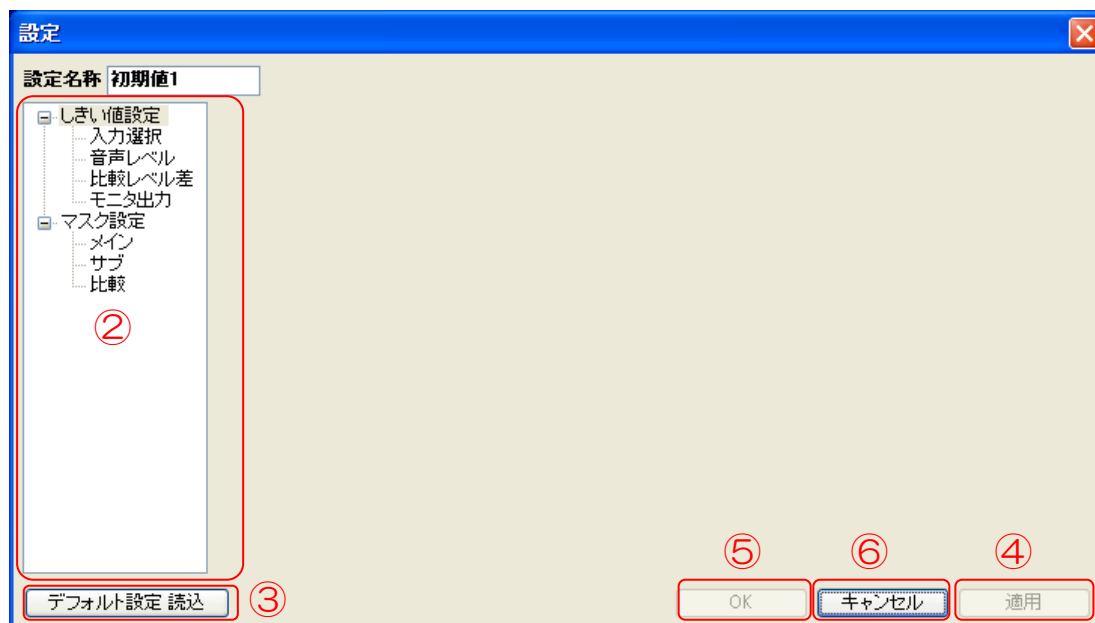
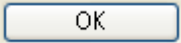


図2. 3-1 設定画面

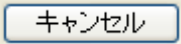
- ① 本画面の起動
「2. 2 設定値の選択画面」にてボタン上でダブルクリックして設定画面を起動します。
- ② 設定画面の切り替え
「入力選択」・・・「メイン」・・・の各アイテムをクリックします。
- ③ デフォルト値の読み込み
 ボタンをクリックします。
しきい値とマスク値が読み込んだデフォルト値に置き換わります。
- ④ 設定値の保存
 ボタンをクリックしてください。
※ 設定値に変更がない場合、ボタンは無効となります。

⑤ 設定値の保存と本画面の終了

 ボタンをクリックします。



※ 設定値に変更がない場合、ボタンは無効となります。

⑥ 本画面の終了

 ボタンをクリックします。

** トラックバーの操作方法 **



 をドラッグ（マウスの左ボタンを押したまま）、または、 をクリックしキーボードの「←」「→」キーで左右に動かします。設定値はトラックバーの左端または、右端表示されます。

2. 3. 1 しきい値設定

本設定の対象となる AED-800 に対するしきい値を設定します。

1. 入力選択

各チャンネルの入力コネクタを選択します。

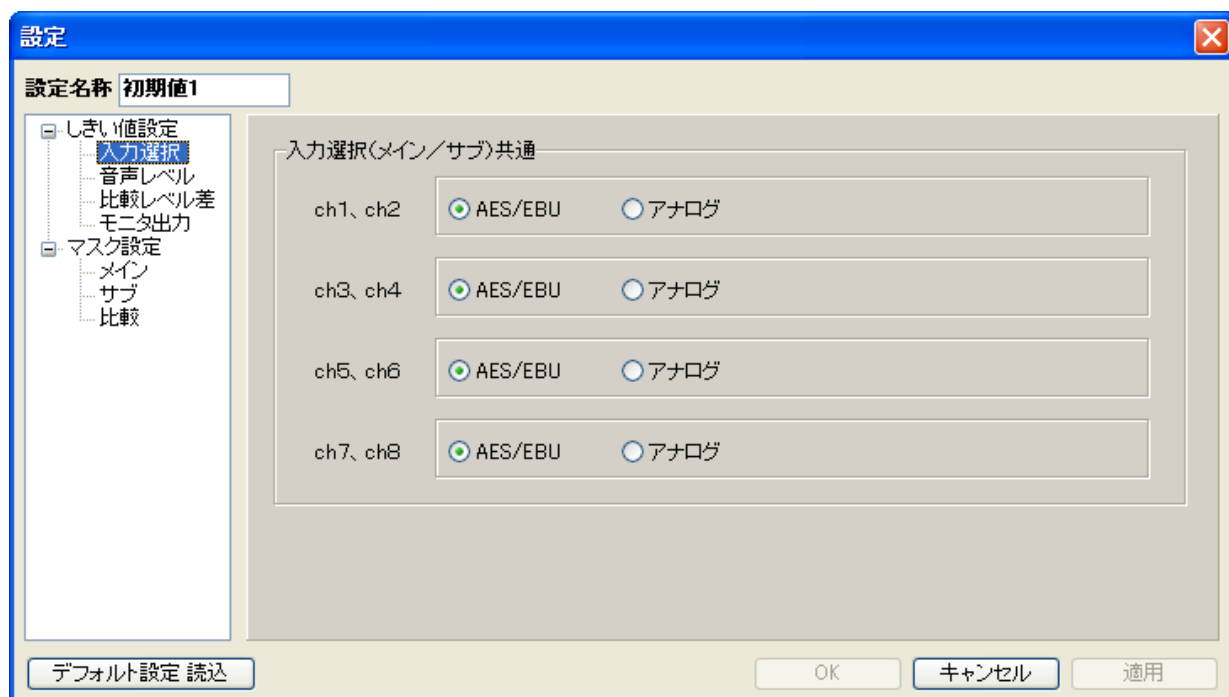


図2. 3-2 しきい値設定画面 (入力選択)

① 本画面の表示

左側のツリー表示より「しきい値設定」→「入力選択」をクリックします。

② 設定値の編集

ボタンをクリックし、AES/EBU入力またはアナログ入力を選択します。

2. 音声レベル

音声レベルの高/低エラーと音声比較エラーを判断するしきい値を設定します。

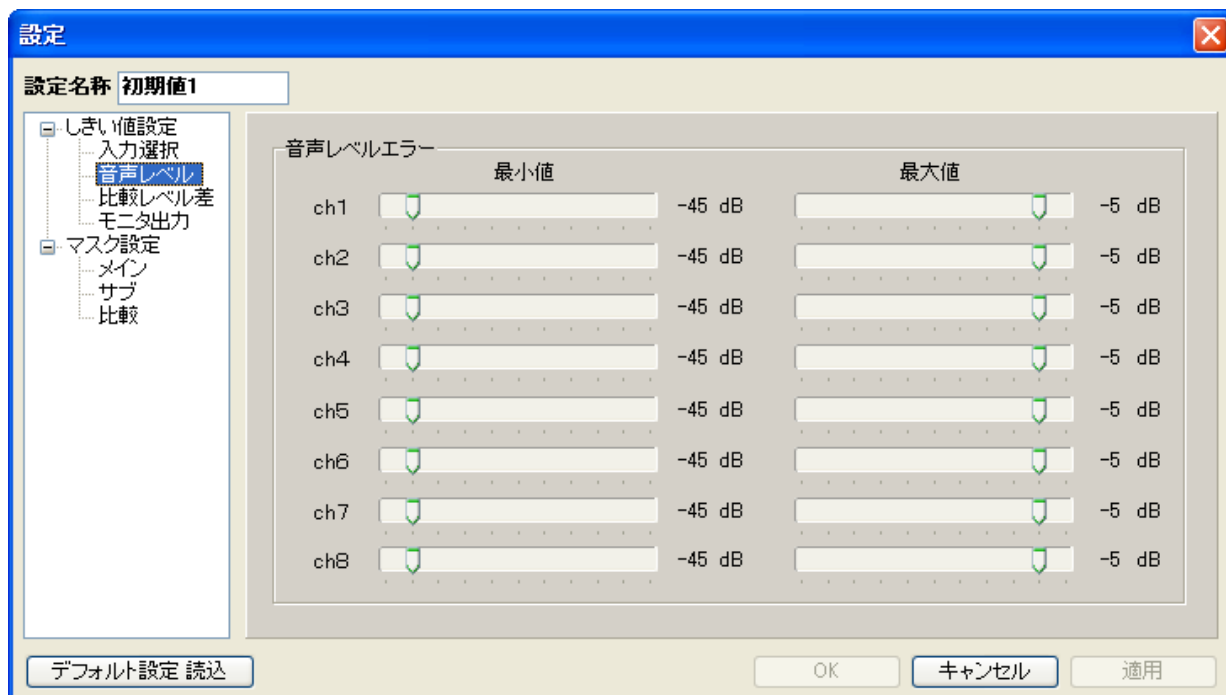


図2. 3-3 しきい値設定画面（音声レベル）

① 本画面の表示

左側のツリー表示より「しきい値設定」→「音声レベル」をクリックします。

② 設定値の編集

1) 音声レベルエラー

a. 最大値

音声レベルエラーを検知する最大値を $<-50> \sim <0>$ (dB)の範囲で設定します。
この値を超えると音声レベルエラーとなります。

b. 最小値

音声レベルエラーを検知する最小値を $<-50> \sim <0>$ (dB)の範囲で設定します。
この値を下回ると音声レベルエラーとなります。

※ 最小値 > 最大値となる設定はできません。

3. 比較レベル

音声比較でエラーを判断するしきい値を設定します。

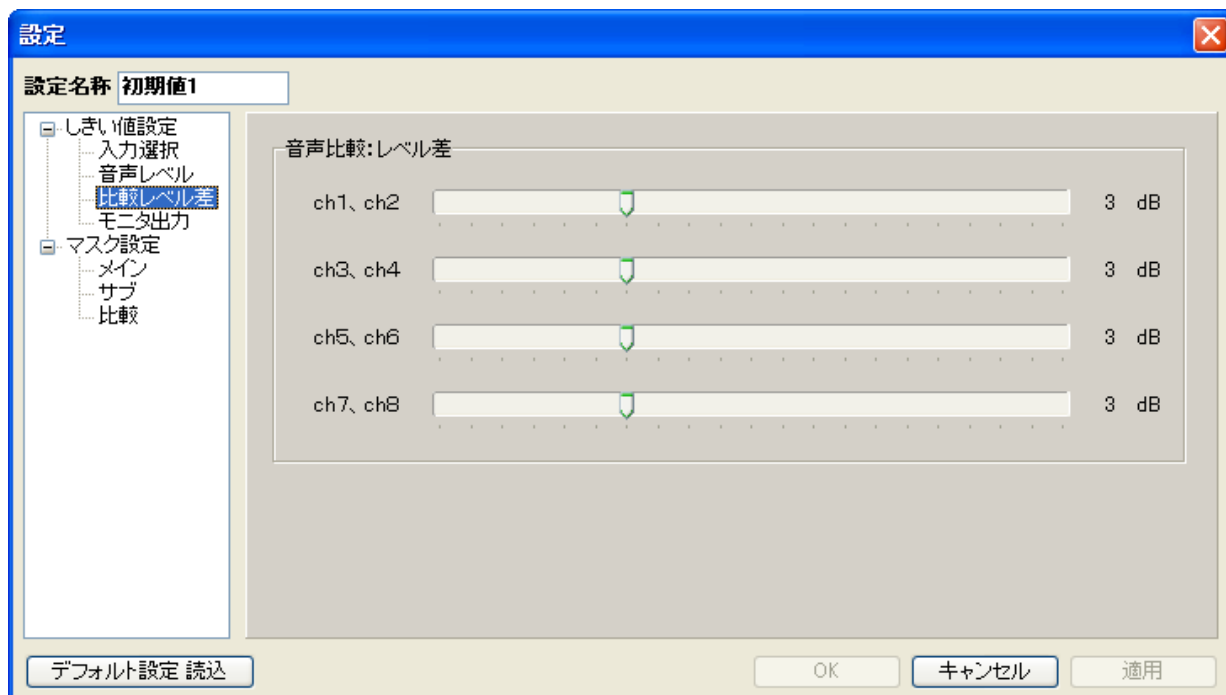


図2. 3-4 しきい値設定（比較レベル差）

① 本画面の表示

左側のツリー表示より「しきい値設定」→「比較レベル差」をクリックします。

② 設定値の編集

各チャンネルに対して、比較しきい値を設定します。

この値を基準にレベル差を判断し、しきい値を超えると音声比較エラーとなります。

4. モニタ出力

本体前面のモニタ出力コネクタから出力する信号ソースを選択します。

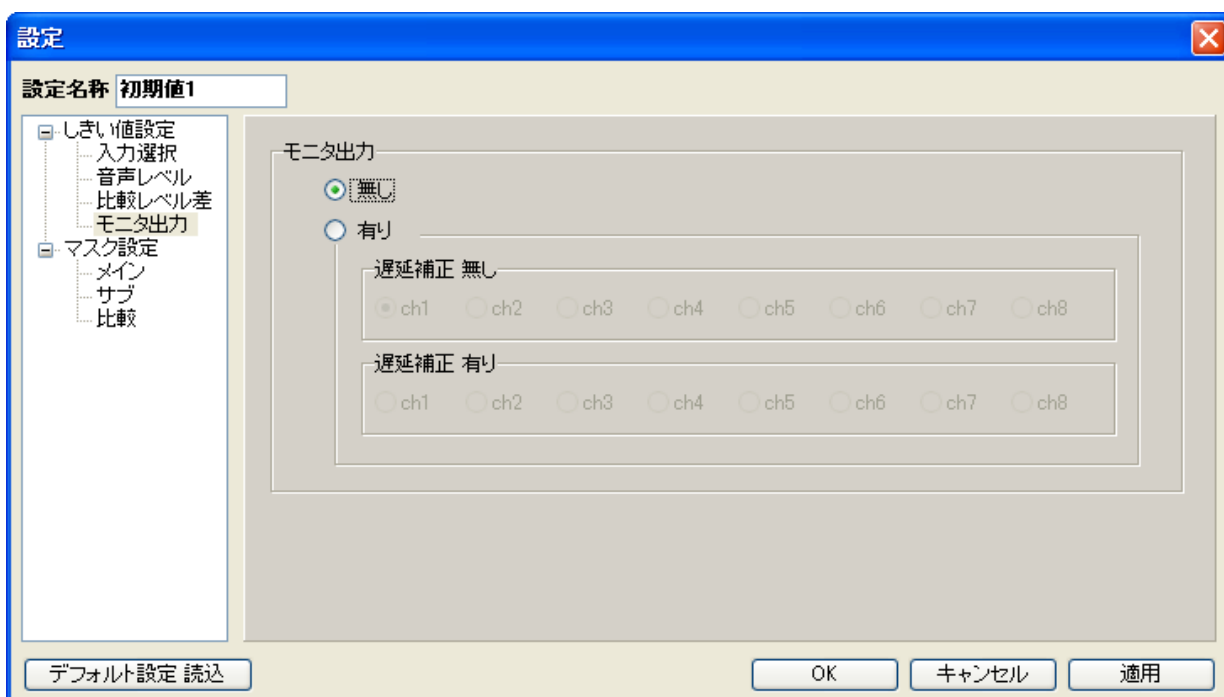


図2. 3-5 しきい値設定（モニタ出力）

① 本画面の表示

左側のツリー表示より「しきい値設定」→「モニタ出力」をクリックします。

② 設定値の編集

ボタンをクリックし、モニタ出力コネクタから出力する信号ソースを選択します。

本機能は「追加機能」の音声モニタ出力機能とは干渉しません。単独で動作します。

2. 3. 2 マスク値設定

本設定の対象となる AED-800 から発生したエラーに対するマスク値を設定します。
マスクとはある特定のエラーが実発生した際、設定したマスク値の秒数分だけ発報を遅らせ、
マスク時間が経過した後もアラームが持続していたら発報するという意味です。

1. メインエラーのマスク値設定

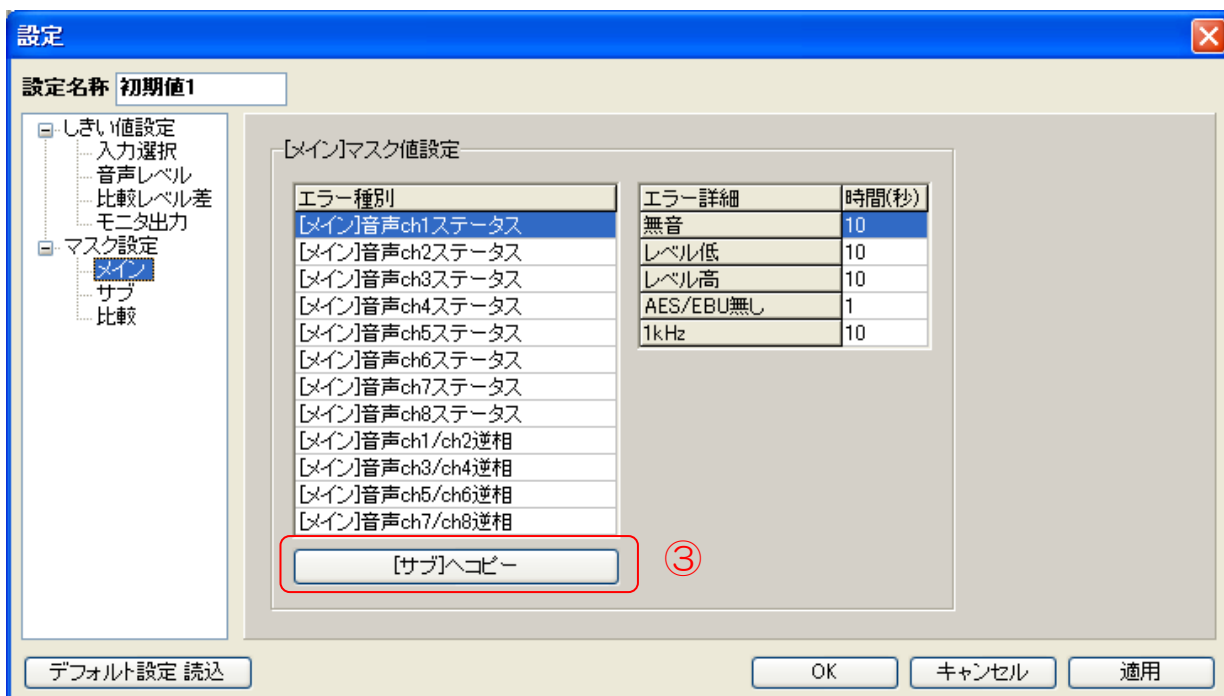


図2. 3-6 マスク設定画面(メイン)

- ① 本画面の表示
左側のツリー表示より「マスク設定」→「メイン」をクリックします。
- ② マスク値の編集
マスク値を設定する「エラー種別」(左側)を選択します。
現在の設定値が「エラー詳細」(右側)に表示されます。
「エラー詳細」の「時間(秒)」欄をクリックすると編集モードとなります。
マスクする時間(秒)を入力します。
- ③ マスク値のコピー
メインエラーのマスク値をサブエラーのマスク値にコピーすることができます。
メインエラーのマスク値設定後 ボタンをクリックしてください。

2. サブエラーのマスク値設定

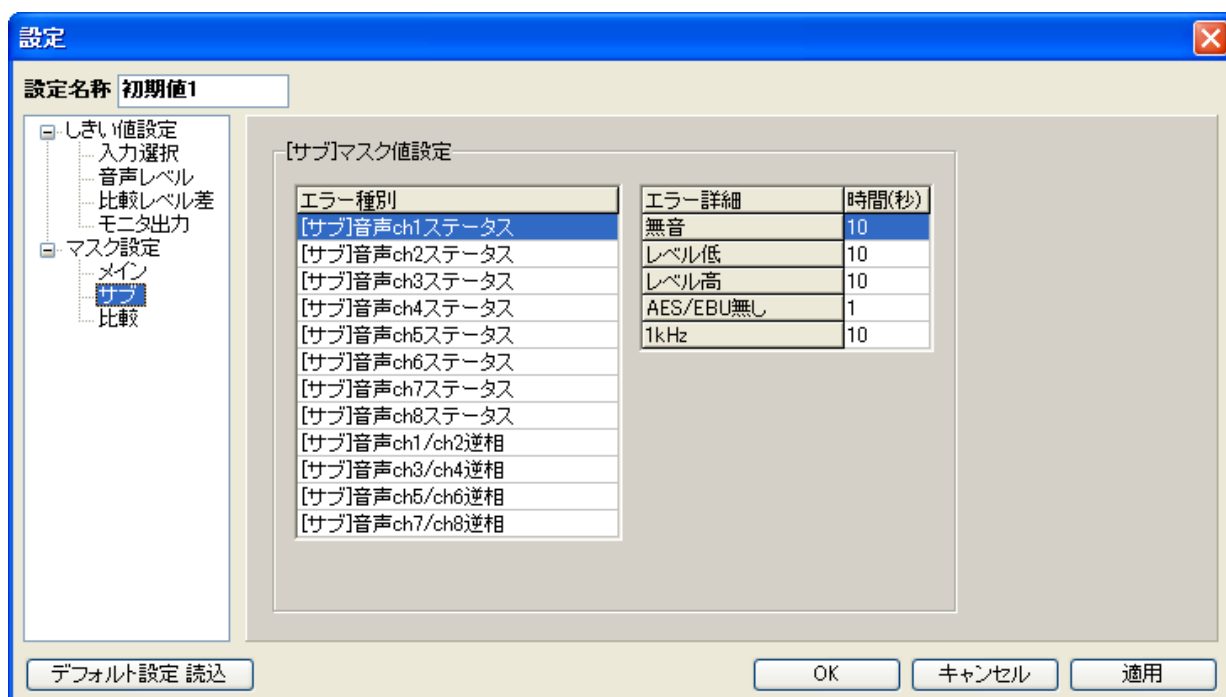


図2. 3-7 マスク設定画面(サブ)

- ① 本画面の表示
左側のツリー表示より「マスク設定」→「サブ」をクリックします。
- ② マスク値の編集
マスク値を設定する「エラー種別」(左側)を選択します。
現在の設定値が「エラー詳細」(右側)に表示されます。
「エラー詳細」の「時間(秒)」欄をクリックすると編集モードとなります。
マスクする時間(秒)を入力します。

3. 比較エラーのマスク値設定

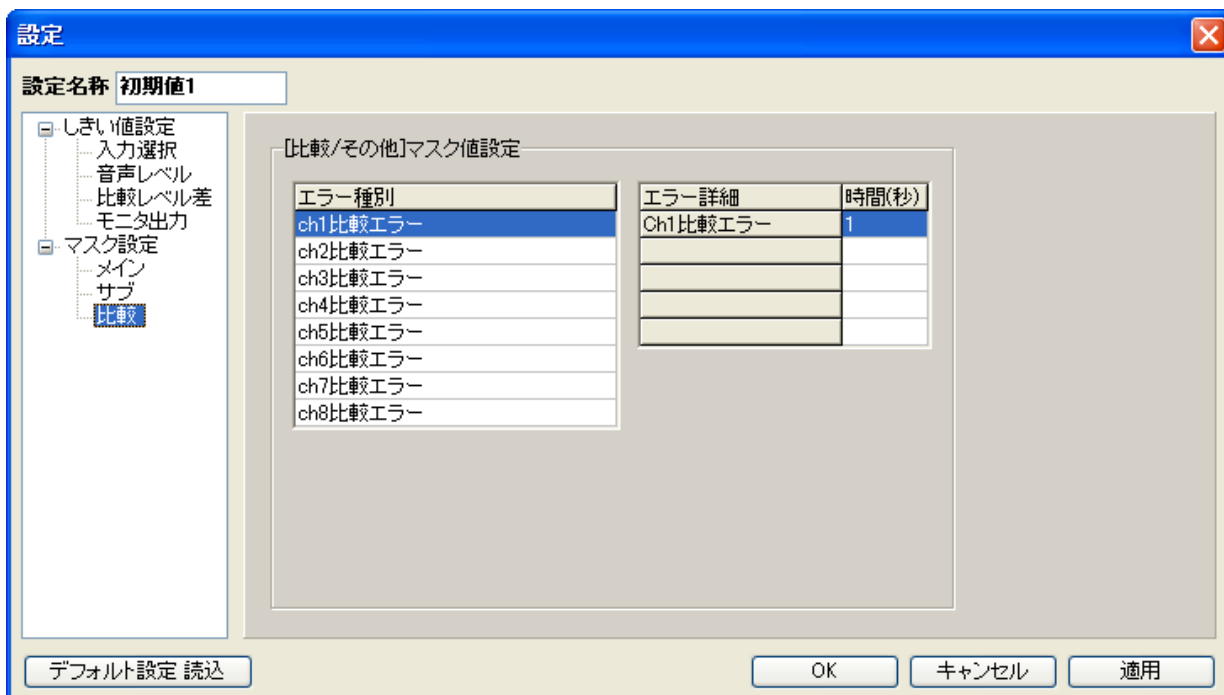


図2. 3-8 マスク設定画面(比較)

- ① 本画面の表示
 左側のツリー表示より「マスク設定」→「比較」をクリックします。
- ② マスク値の編集
 マスク値を設定する「エラー種別」(左側)を選択します。
 現在の設定値が「エラー詳細」(右側)に表示されます。
 「エラー詳細」の「時間(秒)」欄をクリックすると編集モードとなります。

2. 4 台数設定

本画面では、本ソフトで管理を行う AED-800 の台数を設定します。

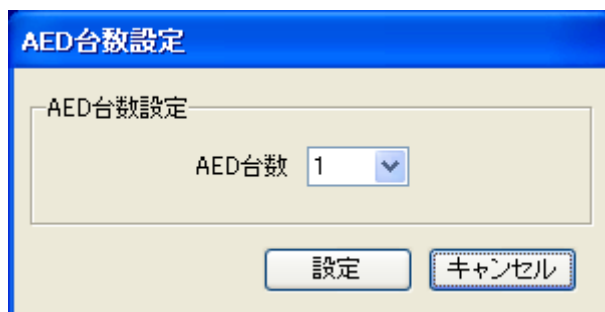


図 2. 4-1 AED台数設定

- ① 本画面の起動
メニューバーの「設定」→「システム設定」→「AED 台数設定」をクリックします。
- ② VED 台数の設定
AED の台数をリストより選択します。
- ③ 設定内容の保存とキャンセル
設定が終了しましたら ボタンをクリックして下さい。
設定を中止する場合は ボタンをクリックして下さい。

2. 5 IP アドレス設定

本画面では AED-800 の IP アドレスとコミュニティ名称を設定します。



名称	IPアドレス	コミュニティ
AED #1	192.168.200.254	public

図 2. 5-1 VED IP アドレス設定

- ① 本画面の表示
メニューバーの「設定」→「システム設定」→「VED-IP アドレス設定」をクリックします。
- ② 設定値の編集
「IP アドレス」欄「コミュニティ」欄をダブルクリックし、編集モードにしてから行ってください。
- ③ 設定内容の保存とキャンセル
設定が終了しましたら ボタンをクリックして下さい。
設定を中止する場合は ボタンをクリックして下さい。

2. 6 ログ保存設定

本画面ではログの保存可否と保存先を設定します。

※エラー検出中は操作できません。

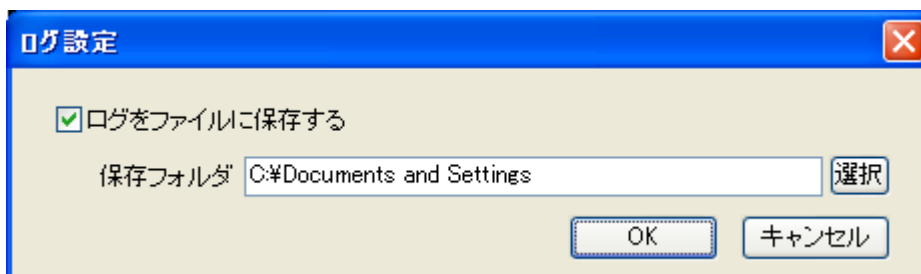



図2. 6-1 ログ保存設定

- ① 本画面の起動
メニューバーの「設定」→「ログ設定」→「ログ保存設定」をクリックします。
- ② ログ保存設定
ログを保存する場合は、「ログをファイルに保存する」にチェックを付けてください。
保存フォルダの選択は **選択** ボタンをクリックすると、フォルダ選択ダイアログが表示されます。対象のフォルダを選択してください。
- ③ 設定内容の保存とキャンセル
設定が終了しましたら **OK** ボタンをクリックして下さい。
設定を中止する場合は **キャンセル** ボタンをクリックして下さい。
- ④ ログ保存先フォルダの表示
「メイン画面」の「ログ保存フォルダを開く」アイコン  をクリックします。
AED番号_月日_時分秒.csv のログファイル一覧が表示されます。
ログファイル名の日時は、エラー検出開始時間となっています。

2. 7 ログ表示設定

本画面ではエラー発生時にログに表示する文言を設定します。

ログに表示される文言は一部、本設定外の文言が固定で付加されることがあります。

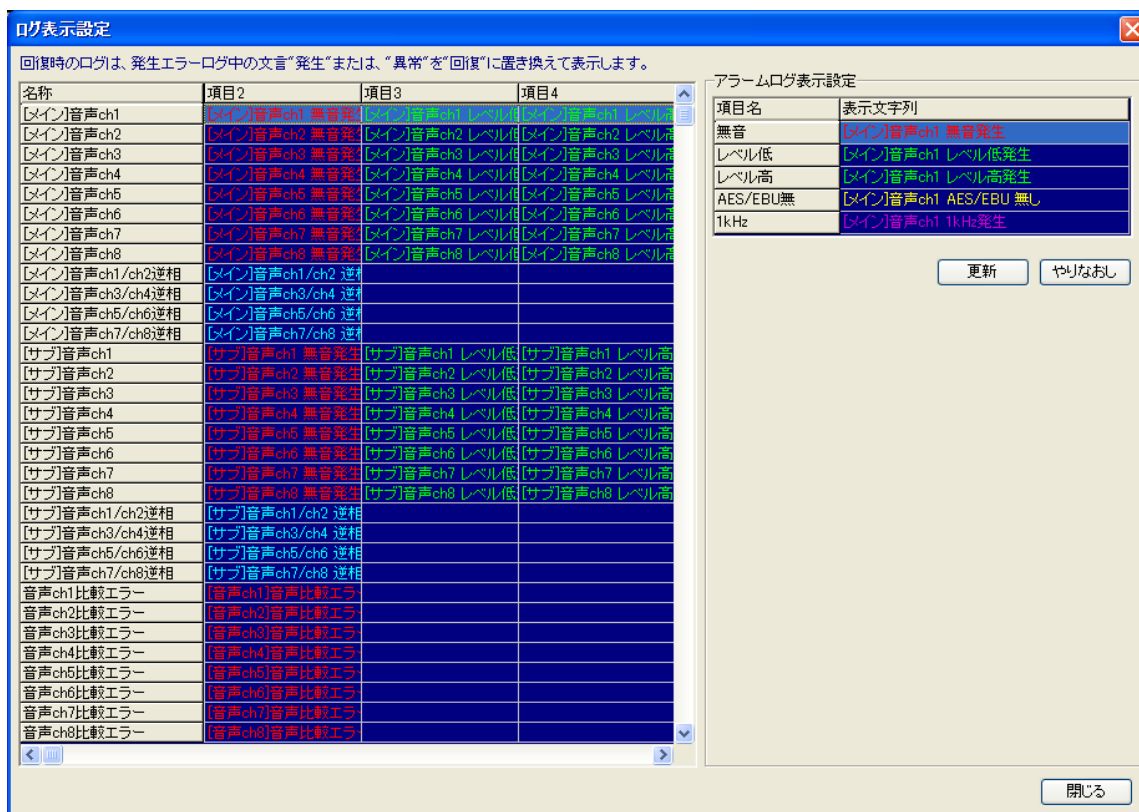


図2. 7-1 ログ表示設定画面

① 本画面の起動

メニューバーの「設定」→「ログ設定」→「ログ表示設定」をクリックします。

② 変更の方法

- ・ 左側項目欄の該当行をクリックで選択します。
- ・ 右側項目の表示文字列欄をダブルクリックし、編集モードにし、編集します。
- ・ 色の変更は右側表示文字列欄をクリックしたうえで右クリックし、ポップアップメニューから **文字色変更(C)** を選択します。
- ・ 編集・変更が終了しましたら、必ず **更新** をクリックします。

③ 本画面の終了

閉じる ボタンをクリックします。

2. 8 追加機能

本画面では AED-800 に対する音声モニタ出力の自動切り替えやエラー発生時の音声出力などを設定します。

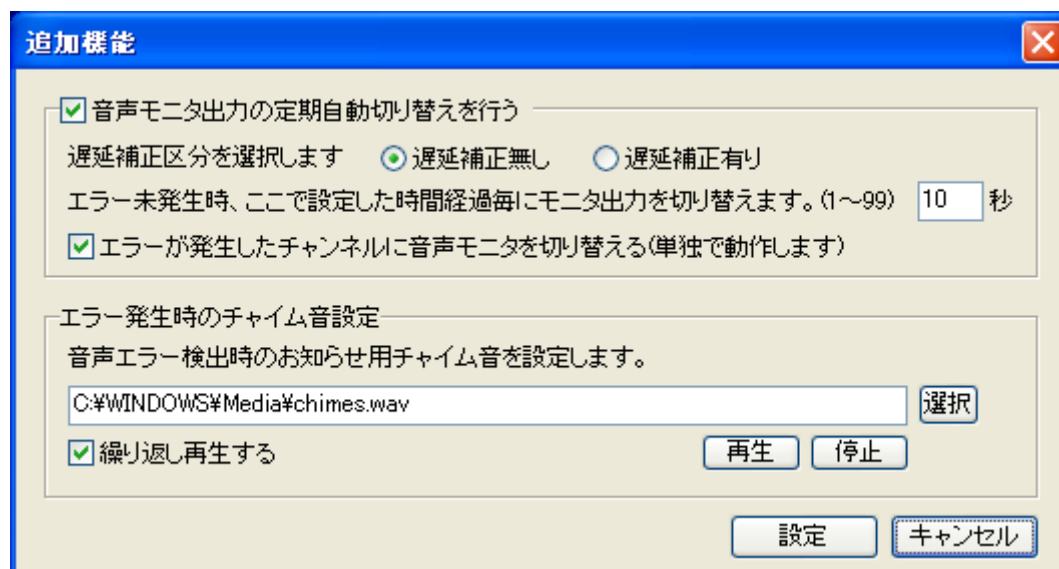


図 2. 8-1 追加機能画面

① 本画面の起動

メニューバーの「設定」→「追加機能」をクリックします。

② 設定内容

(1) 「音声モニタ出力の定期自動切り替えを行う」チェック

チェックを付けると以下条件に基づいて音声モニタ出力を設定時間で切り替えます。

(a) 遅延補正区分

「遅延補正無し」を選択した場合はメイン/サブ音声をそのまま出力します。

「遅延補正有り」を選択した場合はメイン/サブ音声の遅延を合致させてから出力します。

(b) エラー未発生時、ここで設定した時間経過毎にモニタ出力を切り替えます。

実装チャンネルを1チャンネル順番に切り替えるサイクル時間を設定します。

(c) エラーが発生したチャンネルに音声モニタを切り替える

音声エラーが発生したチャンネルに自動的に切り替えます。

(1)のチェックに関わらず動作します。

チェックが付いている場合は(b)時間経過後、定期切り替えに遷移します。

(2)「エラー発生時のチャイム音設定」

(a) 音声ファイル指定

音声エラーが発生した際に鳴動する音声を指定します。

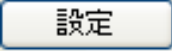
選択できる音声ファイルは WAV,MP3,WMV の 3 種類です。

(b) 繰り返し再生するチェック

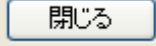
チェックを付けると AED パネルをクリックするまでチャイム音を繰り返します。

(c)「再生」「停止」

(a)で選択したチャイム音を 1 回だけ再生します（視聴機能）

設定が完了したら  をクリックします。

③ 本画面の終了

 ボタンをクリックします。

2. 9 ログ検索

本画面ではログ抽出のための条件設定を行います。

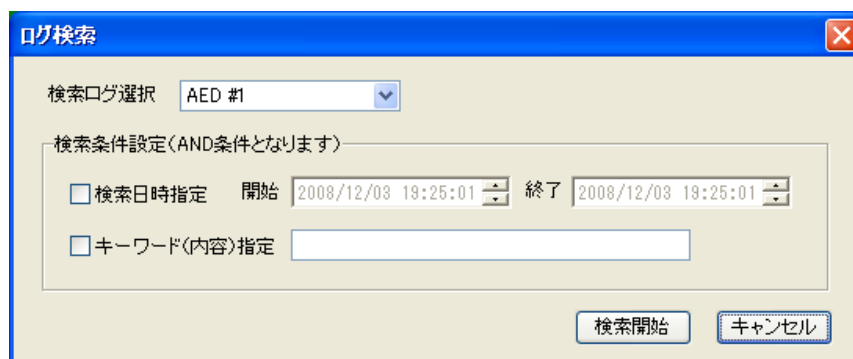


図2. 9-1 ログ検索

- ① 本画面の起動
メニューバーの「ログ操作」→「ログ検索」をクリックします。
- ② 検索条件の指定
 - 1) 検索ログ選択
検索するログの種類をリストより選択します。
 - a. エラーログを検索
「2. 2 設定値の選択」画面にて選択した設定名称を選択します。
 - b. システムログ（システム情報）を検索
「システムログ」を選択します。
 - 2) 検索条件の指定
以下の条件指定が可能です。条件指定を行う場合は、各条件項目にチェックを付けてください。
チェックが付いていないと、条件指定は無効となります。
 - a. 検索日時指定
「開始」「終了」に検索したい日時を入力します。
 - b. キーワード（内容）指定
ログの「内容」欄に含まれる任意の文字を入力します。

③ 検索結果の表示と保存

ボタンをクリックしてください。「ログ検索結果」画面が表示されます。

タイムコード	内容	リアルタイム
	チェックを(手動)開始しました [DV CAM]	13:40:06
99:99:99.99	<Main> 525i1 になりました	13:40:06
99:99:99.99	<Main> VITCなしです	13:40:06
99:99:99.99	<Sub> 525i1 になりました	13:40:06
99:99:99.99	<Sub> VITCなしです	13:40:06
99:99:99.99	<映像比較> 位相変化 発生 しました [同位相]	13:40:06
99:99:99.99	<chA> 位相変化 発生 しました [同位相]	13:40:06
99:99:99.99	<chB> 位相変化 発生 しました [同位相]	13:40:06
99:99:99.99	<chC> 位相変化 発生 しました [2フレーム遅れ]	13:40:06
99:99:99.99	<Main> 1chレベル高 発生 です [タイムコード 09:99:99.99]	13:40:18
99:99:99.99	<Sub> 1chレベル高 発生 です [タイムコード 09:99:99.99]	13:40:18
99:99:99.99	<Main> 2chレベル高 発生 です [タイムコード 09:99:99.99]	13:40:23
99:99:99.99	<Sub> 2chレベル高 発生 です [タイムコード 09:99:99.99]	13:40:23
99:99:99.99	<Main> 3ch無音 発生 です [タイムコード 09:99:99.99]	13:40:26
99:99:99.99	<Sub> 3ch無音 発生 です [タイムコード 09:99:99.99]	13:40:26
99:99:99.99	<Main> 4ch無音 発生 です [タイムコード 09:99:99.99]	13:40:30

「ファイル」メニュー → 「保存」をクリックすると、ログ検索結果を保存できます。

「ファイル」メニュー → 「終了」をクリックすると、本画面を終了します。

④ ログ検索の中止

ボタンをクリックします。

2. 10 ログ削除

本機能では、取得したログデータを削除します。

本機能に画面は存在しません。

① エラーログの削除

メニューバーの「ログ操作」→「ログ削除」→「アラームログ」をクリックします。

※エラーログの削除は、データベース上のデータが削除されるのみで、保存したCSVファイルは削除しません。

② システムログの削除

メニューバーの「ログ操作」→「ログ削除」→「システムログ」をクリックします。

2. 1 1 測定レベル参照

本画面では、AED-800の測定レベルを取得・表示します。

要求を行うAEDを選択してください

AED #1

項目名称	値
[メイン]音声ch1レベル(dB)	
[メイン]音声ch2レベル(dB)	
[サブ]音声ch1レベル(dB)	
[サブ]音声ch2レベル(dB)	
[メイン]音声ch3レベル(dB)	
[メイン]音声ch4レベル(dB)	
[サブ]音声ch3レベル(dB)	
[サブ]音声ch4レベル(dB)	
[メイン]音声ch5レベル(dB)	
[メイン]音声ch6レベル(dB)	
[サブ]音声ch5レベル(dB)	
[サブ]音声ch6レベル(dB)	
[メイン]音声ch7レベル(dB)	
[メイン]音声ch8レベル(dB)	
[サブ]音声ch7レベル(dB)	
[サブ]音声ch8レベル(dB)	
[音声比較]ch1遅延量測定値(ms)	
[音声比較]ch2遅延量測定値(ms)	
[音声比較]ch3遅延量測定値(ms)	
[音声比較]ch4遅延量測定値(ms)	
[音声比較]ch5遅延量測定値(ms)	
[音声比較]ch6遅延量測定値(ms)	
[音声比較]ch7遅延量測定値(ms)	
[音声比較]ch8遅延量測定値(ms)	

図2. 1 1 - 1 測定レベル参照画面

- ① 本画面の起動
メニューバーの「情報参照」→「測定レベル参照」をクリックします。
- ② 測定レベルの取得・表示
 ボタンをクリックします。
- ③ 本画面の終了
 ボタンをクリックします。

2. 1 2 アラーム状態参照

本画面では、AED-800のアラーム状態を取得・表示します。

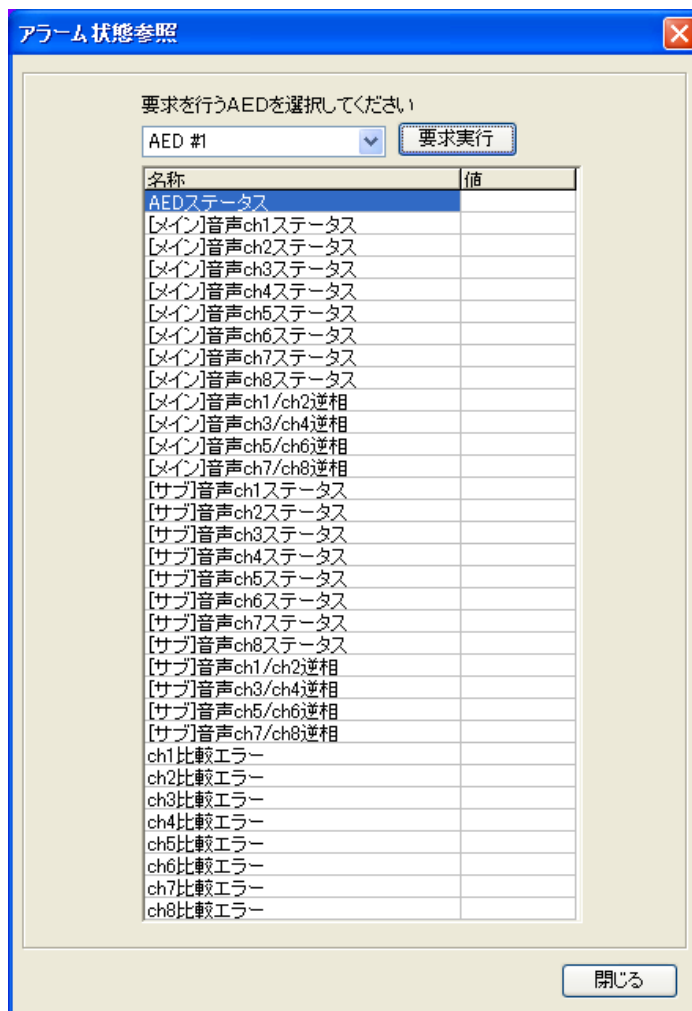


図2. 1 2-1 アラーム状態参照画面

- ① 本画面の起動
メニューバーの「情報参照」→「アラーム状態参照」をクリックします。
- ② アラーム状態の取得・表示
 ボタンをクリックします。
- ③ 本画面の終了
 ボタンをクリックします。

2. 13 しきい値参照

本画面では、AED-800のしきい値を取得・表示します。

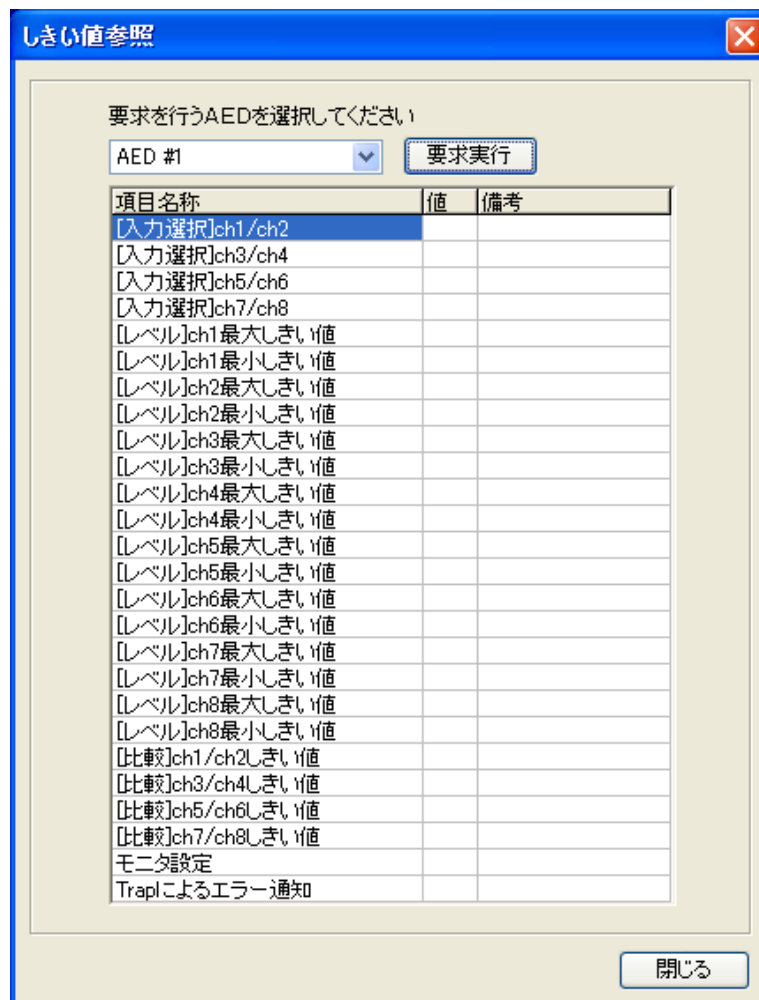


図2. 13-1 しきい値参照画面

- ① 本画面の起動
メニューバーの「情報参照」→「しきい値参照」をクリックします。
- ② しきい値の取得・表示
 ボタンをクリックします。
「値」欄には設定実値を、「備考」欄には設定内容を表示します。
- ③ 本画面の終了
 ボタンをクリックします。

2. 14 マスク値表示

本画面は、AED-800のマスク値を取得・表示します。



図2. 14-1 マスク値表示画面

- ① 本画面の起動
メニューバーの「情報参照」→「マスク値参照」をクリックします。
- ② しきい値の取得・表示
 ボタンをクリックします。
「値」欄に設定実値を表示します。
- ③ 本画面の終了
 ボタンをクリックします。


2. 15 システムログ参照

本画面では、システムログの参照を行います。



日付時刻	内容
2008/03/17 13:50:06	時刻設定が正常終了しました [DV CAM(VAD #1)]
2008/03/17 13:55:06	時刻設定が正常終了しました [DV CAM(VAD #1)]
2008/03/17 14:00:06	時刻設定が正常終了しました [DV CAM(VAD #1)]
2008/03/17 14:05:06	時刻設定が正常終了しました [DV CAM(VAD #1)]
2008/03/17 14:10:06	時刻設定が正常終了しました [DV CAM(VAD #1)]
2008/03/17 14:13:27	しきい値設定が正常終了しました [HD CAM(VAD #1)]
2008/03/17 14:15:06	時刻設定が正常終了しました [HD CAM(VAD #1)]
2008/03/17 14:20:06	時刻設定が正常終了しました [HD CAM(VAD #1)]
2008/03/17 14:21:37	設定値が変更されました。[HD CAM]
2008/03/17 14:21:39	しきい値設定が正常終了しました [HD CAM(VAD #1)]
2008/03/17 14:21:43	設定値が変更されました。[HD CAM]
2008/03/17 14:21:45	しきい値設定が正常終了しました [HD CAM(VAD #1)]
2008/03/17 14:21:54	設定値が変更されました。[HD CAM]
2008/03/17 14:21:56	しきい値設定が正常終了しました [HD CAM(VAD #1)]
2008/03/17 14:25:06	時刻設定が正常終了しました [HD CAM(VAD #1)]
2008/03/17 14:30:06	時刻設定が正常終了しました [HD CAM(VAD #1)]
2008/03/17 14:35:06	時刻設定が正常終了しました [HD CAM(VAD #1)]
▶2008/03/17 14:40:06	時刻設定が正常終了しました [HD CAM(VAD #1)]

図2. 15-1 システムログ参照画面

- ① 本画面の起動
メニューバーの「情報参照」→「システムログ参照」をクリックします。
- ② 本画面の終了
 をクリックします。

2. 16 AEDバージョン参照

本画面では、AED-800のバージョン情報を表示します。

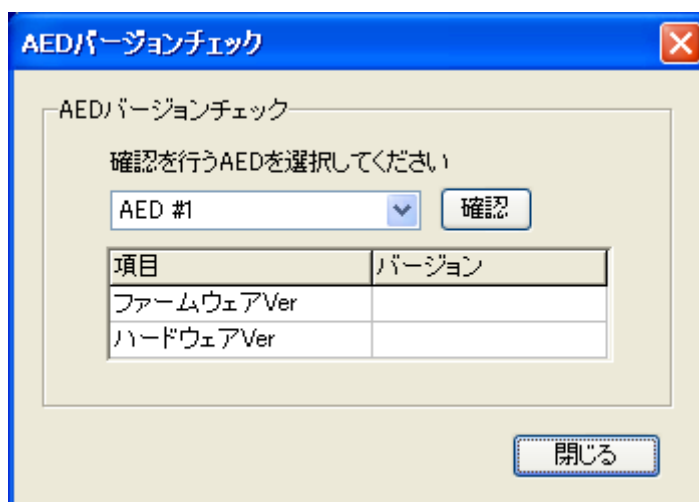

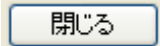


図2. 16-1 AEDバージョン参照画面

- ① 本画面の起動
メニューバーの「ヘルプ」→「AEDバージョン」をクリックします。
- ② AEDバージョン情報の取得・表示
 ボタンをクリックします。
- ③ 本画面の終了
 ボタンをクリックします。

2. 17 バージョン情報

本画面では、管理ソフトのバージョン情報を表示します。

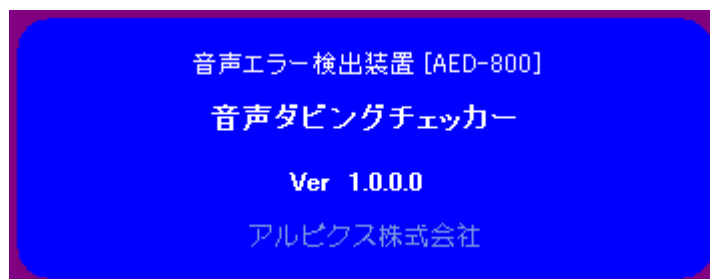


図2. 17-1 バージョン情報画面

- ① 本画面の起動
メニューバーの「ヘルプ」→「バージョン」をクリックします。
- ② 本画面の終了
本画面をクリックします。

3. 特記事項

3. 1 インストールフォルダにあるファイルについて

インストールフォルダにあるファイルは管理ソフトで使用している重要なファイルです。
手動で編集、変更する事はお控えください。

お問い合わせ先

お買い上げいただきました弊社製品についてのアフターサービスは、お買い上げの販売店におたずねください。
なお、販売店が不明の場合は弊社へお手数でもご連絡ください。

故障・保守サービスのお問い合わせは

販売店：

TEL
担当

製品の操作方法に関するお問い合わせは

無断転載禁止

アルビクス株式会社

〒959-0214

新潟県燕市吉田町法花堂1974-1

TEL：0256-93-5035

FAX：0256-93-5038